

Section 1

価値創造 ストーリー

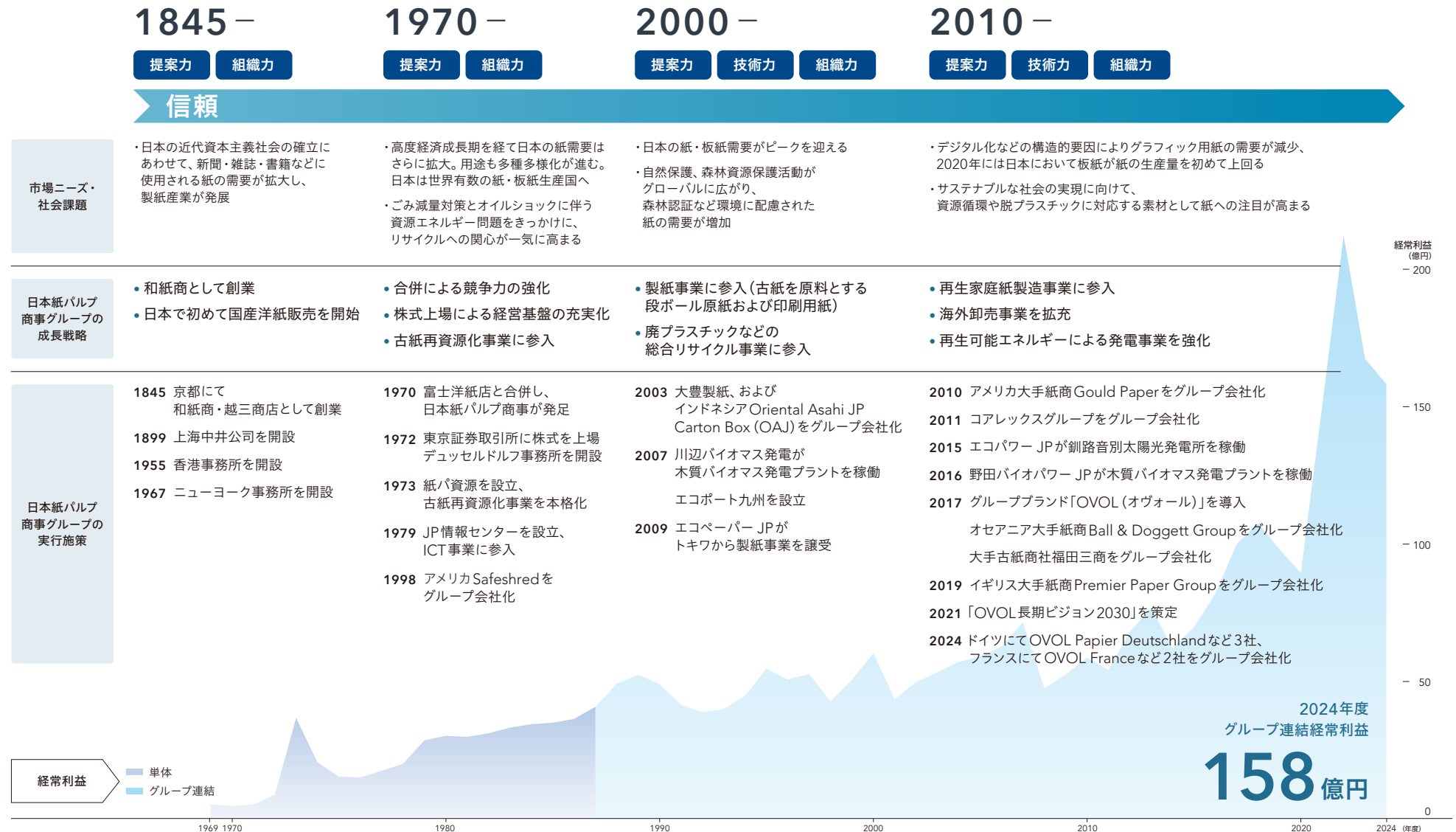
本セクションでお伝えしたいこと



価値創造のあゆみ	15
価値創造プロセス	16
マテリアリティ起点の資本強化と提供価値	17
インプットする資本	18
3つの強み	20
グループの事業活動、製品・サービス	21
社会と地球環境のよりよい 未来を拓くために	22
ステークホルダーへの提供価値	23
【特集】価値創造事例	
①大阪・関西万博から世界へー 紙の価値・可能性を再発信	25
②オリジナリティあふれる「紙化」提案で、 紙の新たな需要を創出する	27

価値創造のあゆみ

日本紙パルプ商事の歴史は、1845年、京都で和紙商・越三商店を創業したことにさかのぼります。以来、常に時代や社会の変化を捉え、事業を変革しながら、価値を創出し続けてきました。私たちは、積み上げてきた信頼に基づいた3つの強み「提案力」「技術力」「組織力」を発揮すべき方向性を見定め、経営戦略を描き、挑戦し、グループの総合力を結集して社会の持続的発展に貢献します。



価値創造プロセス

日本紙パルプ商事グループは、2030～2050年の外部環境を想定し長期的な視点からバックキャストで検討した価値創造のプロセスを通じて「OVOL長期ビジョン2030」を、さらに価値創造プロセスを循環させることによって「サステナブルな企業集団」を実現します。

社会課題・事業課題

- ・森林資源の減少・生物多様性の毀損
- ・先進国の人口減、新興国の人口増
- ・地政学リスク
- ・環境意識の高まり
- ・健康・衛生意識の高まり
- ・サステナビリティの取り組み強化要請の高まり、および開示規制の強化
- ・紙の機能・価値・用途の多様化
- ・デジタル化の進展

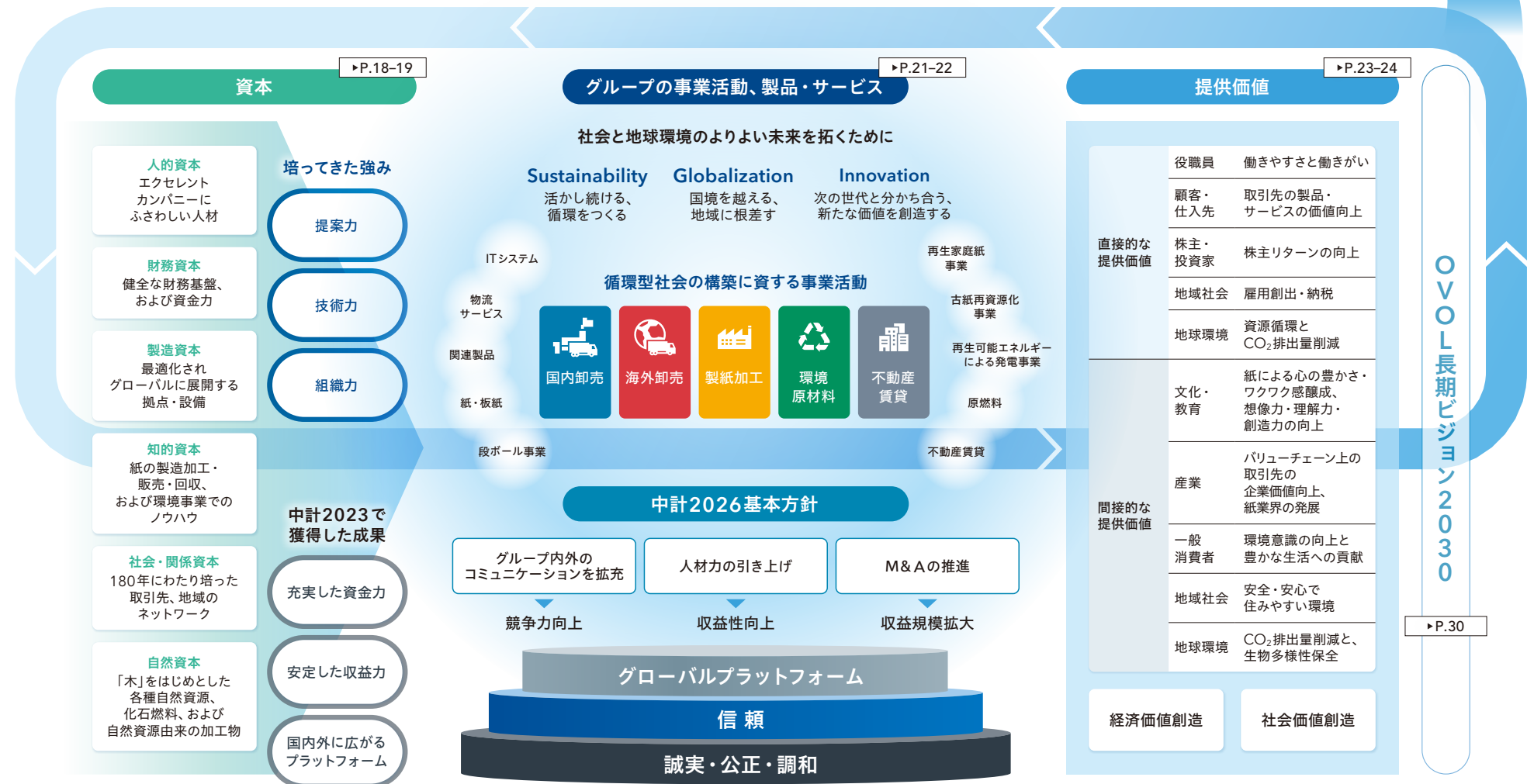
マテリアリティ ▶P.67-69

環境	・気候変動	・生物多様性	・資源循環	・環境負荷
社会	・サプライチェーン	・地域社会	・デジタル化	
人材	・労働環境	・ダイバーシティ&インクルージョン		
ガバナンス	・コーポレートガバナンス	・コンプライアンス	・ステークホルダーエンゲージメント	

Our Mission

社会と地球環境の
よりよい未来を拓きます。

サステナブルな
企業集団



マテリアリティ起点の資本強化と提供価値

当社グループは、「経済価値と社会価値を両立し、持続可能な事業活動の実現に重大な影響を与える社内外の要因」として「環境」「社会」「人材」「ガバナンス」の4テーマに基づく12項目のマテリアリティを特定しています。これらに基づき、各種資本を最大限に強化することで、当社グループならではの提供価値の創出に取り組んでいます。

マテリアリティと資本の関係

マテリアリティ	人的資本	財務資本	製造資本	知的資本	社会・関係資本	自然資本
 環境 - 気候変動 - 生物多様性 - 資源循環 - 環境負荷	 環境教育・研修を通じて、役職員の環境意識と行動力を育成。	 脱炭素や資源循環への投資により、サステナブル経営を実現。	 省エネ設備やリサイクル設備を整備し、環境負荷を低減。	 気候変動リスクの開示や認証取得、資源循環の知見を通じて環境対応力を強化。		 役職員の環境リテラシー向上を通じて、自然資源の持続可能な利用促進と生物多様性の保全に貢献。
 社会 - サプライチェーン - 地域社会 - デジタル化	 人権尊重と職場の安全性向上により、安心して働ける基盤を整備。	 地域貢献や雇用創出など、社会的インパクトを重視した資金配分を実施。		 サプライチェーンにおける人権・労務リスクの把握と管理手法の高度化。デジタル化の推進。		 地域社会やパートナー企業との連携により、持続可能な共生関係の構築。
 人材 - 労働環境 - ダイバーシティ＆インクルージョン	 多様性の尊重、人材育成、健康・安全配慮を通じて、働きがいのある職場を実現。	 役職員の成長を後押しする教育制度や働き方改革に戦略的に投資。		 キャリア支援や人材育成手法の体系化により、戦略的な人材マネジメントを推進。		
 ガバナンス - コーポレートガバナンス - コンプライアンス - ステークホルダーエンゲージメント	 倫理観や法令順守の意識を根づかせる教育で、信頼される企業文化を醸成。	 リスク管理体制や内部統制の強化に必要な投資を実行し、持続的な企業価値を確保。			 誠実な経営姿勢と説明責任の実践により、ステークホルダーとの信頼関係を維持・強化。	

提供価値

直接的な提供価値	役職員	働きやすさと働きがい
	顧客・仕入先	取引先の製品・サービスの価値向上
	株主・投資家	株主リターンの向上
	地域社会	雇用創出・納税
	地球環境	資源循環とCO ₂ 排出量削減
間接的な提供価値	文化・教育	紙による心の豊かさ・ワクワク感醸成、想像力・理解力・創造力の向上
	産業	バリューチェーン上の取引先の企業価値向上、紙業界の発展
	一般消費者	環境意識の向上と豊かな生活への貢献
	地域社会	安全・安心で住みやすい環境
	地球環境	CO ₂ 排出量削減と、生物多様性保全

経済価値創造

社会価値創造

インプットする資本

資本

事業活動、製品・サービス

提供価値

日本紙パルプ商事グループがこれまで積み上げてきた各々の経営資本は、現在の事業活動を支え、企業価値を高めていくために、価値創造プロセスに投入します。当社グループは、価値創造プロセスでの資本循環を通じて、各経営資本をさらに強化・拡大するとともに、経済価値と社会価値をともに実現する持続可能な事業活動に取り組んでいます。

現在の日本紙パルプ商事グループの資本

今後、獲得・強化すべき要素

	人的資本	・リーディングカンパニーにふさわしい人材 ・連結従業員数：4,831名 ・海外事業拠点従業員数比率：54.4% ・連結女性従業員比率：26.9% ・単体平均勤続年数：20.4年 ・「紙業界の枠を超えたエクセレントカンパニー」の実現に向け、人的資本を最重要の経営資本と位置づけ、取り組みを推進。 ・質・量ともに充実した人材の確保に努め、多様な個性や発想を活かす風土を育む。 ・従業員が健康でいきいきと働ける環境づくりに取り組む。	・エクセレントカンパニーにふさわしい人材 ・高度専門人材（環境、グローバル、新規ビジネス、M&A、経営コンサルティング、DX、物流） ・高いワークエンゲージメントを有する人材集団
	財務資本	・健全な財務基盤・資金調達力 ・純資産 1,456億円 ・有利子負債 990億円 ・ネットD/Eレシオ 0.60倍 ・フリー・キャッシュ・フロー 98億円 ・発行体格付 A ・長年の信頼関係に基づく優良債権とバランスの取れた事業ポートフォリオにより、安定した収益基盤を確立するとともに、財務規律の徹底と資金効率の高い運営により、健全な財務体質を維持。 ・創出したキャッシュを新たな価値創造に投入し、持続的な企業価値の向上を図る。	・資本効率を意識した経営資源配分の高度化
	製造資本	・グローバルに展開する物流拠点 ・独自の技術を持つ製紙拠点6カ所 ・リサイクル事業拠点24カ所 ・再生可能エネルギー拠点6カ所 ・賃貸用不動産12物件 ・「世界最強の紙流通企業グループ」の実現に向け、グローバルな物流拠点を活用し、地域密着型の高品質なサービスを提供。 ・循環型社会の構築を目指し、古紙の回収・再資源化や古紙を原料とした製紙・加工を強化。 ・再生可能エネルギーによる発電事業にも取り組み、持続可能な社会への貢献を推進。	・DX化された高効率な物流施設 ・環境対応した生産設備 ・グローバルなパッケージ加工拠点 ・地理的なプラットフォームの強化

インプットする資本

資本

事業活動、製品・サービス

提供価値

現在の日本紙パルプ商事グループの資本

今後、獲得・強化すべき要素



知的資本

- 紙の製造加工・販売、古紙回収および環境事業での**ノウハウ**
- 紙ビジネスでの**専門性**と**提案力**
- 紙流通ITシステム**

- 紙および紙関連素材、印刷・加工、さらには紙のサプライチェーン全体に関する豊富な知識と経験を有し、当社グループならではの紙業界における知的資本を確立。
- コアレックスグループの独自技術により難再生古紙を製紙原料として活用し、循環型社会の構築に貢献。
- 紙卸売業システム、紙物流システムの導入社数において業界内の圧倒的トップシェアを誇り、紙流通業のシステムインフラを担う。

- パッケージに関する加工なども含めたサプライチェーンの知見
- データ分析、業務最適化システム



社会・関係資本

- 180年**にわたり培った取引先との**ネットワーク**と**信頼関係**
- 事業拠点における**地域との良好な関係**

- 創業以来180年にわたり築き上げてきた取引先との信頼関係は、当社グループならではの社会・関係資本として、市場での評価やビジネス機会を創出。
- 今後は、デジタル化による紙需要の減少などの環境変化に的確に対応するとともに、経済価値と社会価値の両立を図り、ステークホルダーとの連携を一層強化することで、社会・関係資本のさらなる強化に努める。

- ステークホルダーとのさらなる連携強化



自然資本

- 木・水・化石由来原料・化石燃料**
木質バイオマス・太陽光

- 木・水・化石由来原料や化石燃料など、自然資本は当社グループの事業と密接に関係しており、重要な経営資本と位置づけている。
- 古紙・廃プラスチックの再資源化や、木質バイオマス・太陽光による再生可能エネルギー発電を通じて、循環型社会の構築に貢献。
- これまで培ってきた環境分野の知見と技術力をさらに高め、自然資本の効率的利用と環境負荷の低減を図ることで、地球環境の維持と経済価値の創出を目指す。

- 古紙発生減に対応した調達力の強化

3つの強み

資本

事業活動、製品・サービス

提供価値



人的資本



財務資本



製造資本



知的資本



社会・関係資本



自然資本

専門性とネットワークを活かした 「提案力」

- 当社グループの事業活動は、ステークホルダーから寄せられる「信頼」を基盤としています。
- この「信頼」に応えるための重要な強みの一つが、専門性とネットワークを活かした「提案力」です。
- 180年にわたり紙ビジネスに携わってきた実績を通じて、「紙および関連素材」「印刷・加工」「紙のサプライチェーン」において、当社グループはゆるぎない自信と確かな強みを築いてきました。
- グローバルネットワークとパートナー企業との強固な信頼関係を活用し、顧客ニーズに応じて開発から納品までを一貫してコーディネートする「提案力」を発揮しています。

このような基盤から、紙の新たな価値を創出し、その可能性を広げ続けています。

日本紙パルプ商事グループが発揮する「提案力」

卸売分野

社会のニーズに最適な製品を選定し、適切な加工を実現する技術力を活かすことで、開発から納品までをトータルコーディネートする「提案力」

製造分野

独自の技術力を活用し、社会の新たな要請に対応した製品を開発する「提案力」

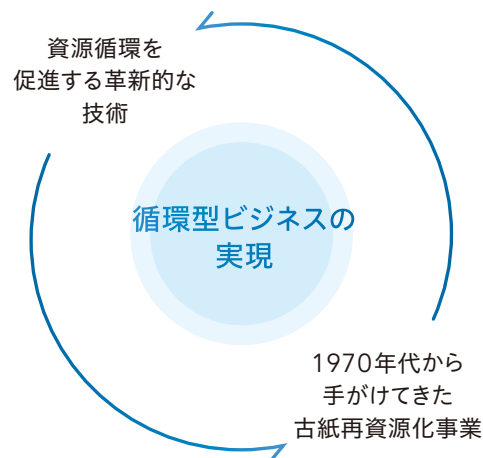
環境分野

グループの各分野による組織力を活用し、資源循環を推進する「提案力」

循環型ビジネスを実現する 「技術力」

- 当社グループは、循環型ビジネスの実現に向けた圧倒的な強みとして、古紙再生技術を中心とした高度な「技術力」を有しています。
- 再生が困難とされる古紙を原料とした再生家庭紙の製造に積極的に取り組むとともに、さらなる技術革新にも注力しています。

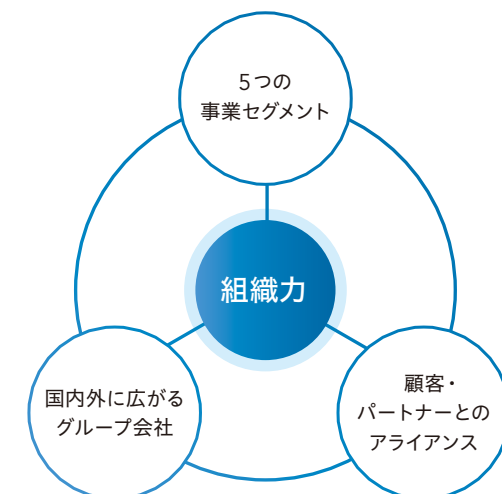
これらの取り組みにより、
新たなリサイクルシステムの構築を推進し、
循環型社会の形成に貢献しています。



新たな価値を創造する 「組織力」

- 当社と国内外に広がる100社以上のグループ企業は、紙を中心とした5つの事業セグメントにおいて幅広く事業を展開し、それぞれが固有の機能と強みを有しています。
- 当社グループでは、これらの多様な事業を「縦糸」、グローバルに展開する地域を「横糸」として捉え、それらを有機的に紡ぎ合わせることで、当社グループならではのアセットを形成するとともに、それを活かした顧客・パートナーとのアライアンスを展開しています。

こうしたアセットの組み合わせにより、
新たな価値を創出していく力こそが、
当社グループの「組織力」の本質です。



▶ 強みを活かした当社グループならではの価値創造の取り組みについては [P.25-28「価値創造事例」](#) をご覧ください。

グループの事業活動、 製品・サービス

当社グループは180年にわたり、紙流通のリーディングカンパニーとしての自覚と矜持を持ち、日々の業務に向き合っていくことで、「信頼」を一つひとつ積み重ね、その「信頼」に基づく、当社グループならではの事業を築き上げてきました。当社グループは、企業理念において大切にすべき価値観を「誠実・公正・調和」と定めています。企業理念に始まり企業理念に終わるという姿勢で事業に取り組んできた当社グループに対して、ステークホルダーから寄せられる「信頼」こそが、現在の当社グループの大きな財産であり、当社グループならではの強みの源泉です。

現在、当社グループは、「信頼」という最大の財産をさらに高めるために、Our Mission（グループの使命）である「社会と地球環境のよりよい未来を拓きます。」のもと、以下の3つの方向性を軸に価値創造に取り組んでいます。

Sustainability 活かし続ける、循環をつくる

Globalization 国境を越える、地域に根差す

Innovation 次の世代と分かち合う、新たな価値を創造する

今後も当社グループは、事業活動のさらなる進化に取り組み、経済価値と社会価値をともに実現することを目指します。

資本

事業活動、製品・サービス

提供価値

社会と地球環境のよりよい未来を拓くために

Sustainability

活かし続ける、
循環をつくる

Globalization

国境を越える、
地域に根差す

Innovation

次の世代と分かち合う、
新たな価値を創造する



中計2026基本方針

グループ内外の
コミュニケーションを拡充

人材力の引き上げ

M & Aの推進

競争力向上

収益性向上

収益規模拡大

グローバルプラットフォーム

信 頼

誠実・公正・調和

社会と地球環境のよりよい未来を拓くために

資本

事業活動、製品・サービス

提供価値

Sustainability

活かし続ける、循環をつくる

サステナブル紙製品・
資源循環・
再生可能エネルギーへの
取り組み

▶ 古紙リサイクル

1973年より国内で本格展開し、米国・インドにも進出。国内外に拠点を有し効率的な回収ネットワークを構築。

▶ 総合リサイクル

プラスチック系廃棄物に加え、古紙・木質系廃棄物を「サーマル」と「マテリアル」という2つのリサイクルを組み合わせることで、効率的な再資源化に取り組む。

▶ 再生可能エネルギー

クリーンかつ安全な電力の安定供給を目指し、太陽光発電、木質バイオマス発電事業を推進。再生可能エネルギーの活用と持続可能な社会の実現に貢献。

Globalization

国境を越える、地域に根差す

グローバル展開と
地域密着を両立させる
取り組み

▶ 22の国・地域で事業展開

各事業拠点にて、現地文化・商習慣を尊重した取引を推進。

▶ 地域内マネジメントの最適化と強化

各国拠点がサプライチェーン管理と適切な顧客対応を実施。

▶ 地域ニーズに基づく製品展開

各国・地域における顧客の多様なニーズや市場特性を的確に把握したうえで、それぞれの拠点到最適化された製品・サービスを開発・提供。

Innovation

新たな価値を創造する

次の世代と分かち合う、
新たな価値を創造する

▶ 紙の価値訴求

紙の環境性能や文化的価値を伝える啓発活動を展開。教育現場への寄贈やイベントも実施。

▶ 紙化提案

包装・容器などへの紙製品導入提案により、CO₂削減やサステナビリティ戦略を支援。



ステークホルダーへの提供価値

資本

事業活動、製品・サービス

提供価値

当社グループは、「信頼」に基づくビジネスモデルを通して、ステークホルダーへ「直接的な提供価値」「間接的な提供価値」を創出しています。
今後も、当社グループは経済価値と社会価値をともに実現すべく、事業活動に取り組んでいきます。

直接的な提供価値

現在、日本紙パルプ商事グループが創出し続ける提供価値

当社グループにおける対応および取り組み事例

今後、日本紙パルプ商事グループが創出を目指す提供価値

 役職員	- 安定・長期雇用機会 - 研修・OJTによる成長機会 - ウェルビーイング - 業績条件型譲渡制限付株式インセンティブ制度	- グループ企業理念の浸透によるエンゲージメント向上 - 定年延長 - 経営層と従業員との対話会の実施 - 働きやすく、能力を発揮できる環境整備	既存提供価値のさらなる向上に取り組む
 顧客	- 素材ミックスコーディネートなど新たな製品・サービスの提案による、顧客の製品価値向上 - 新たなビジネスモデルの創造 - 紙・板紙の安定的な調達 - 商社金融の提供による財務負担の軽減、信用力の向上 - 消費者や社会が紙の価値を再認識する啓発活動の実践を通じた需要創出による、顧客の新たなビジネス機会の獲得	- あらゆるユーザー、ニーズ、用途に対応する幅広い製品ラインアップ - 適正な価格と量、タイミングでの製品供給 - グローバルに展開する紙・板紙流通ネットワーク - 環境負荷が少なく、社会課題を解決する製品の提供 - 共創する新たなビジネスモデルの提案 - パッケージで使用されている紙およびプラスチックの再資源化 - 紙の書籍に関するキャンペーンへの協賛、紙の価値を再認識するイベントの開催・参加	- 顧客の企業価値向上・事業継続・事業拡大・人手不足解消 - ワークショップの実施による顧客の人材育成への貢献 - 紙以外の業界への物流機能の提供
 仕入先	- 当社グループに販売を委託することによる - 安心感・信頼性 - 販売機会拡大 - 最適生産・在庫リスクの軽減 - 市場ニーズの情報提供による製品開発 - 機会の創出 - 原料古紙調達の安定性	- 啓発活動の実践を通じた紙の価値向上による関連産業の活性化 - 販売機会の創出 - 古紙供給ネットワークの充実	- 低炭素な新製品開発 - 仕入先の企業価値向上・事業継続・事業拡大・人手不足解消
 株主・投資家	- 配当 - 収益拡大やIR活動強化などによる株価上昇	「OVOL長期ビジョン2030」の実現、および「中期経営計画2026」の実践 - ESGに関する要請に対応した、サステナブル経営の推進・情報開示 - 連結配当性向を30%以上とする累進配当 - 機動的かつ柔軟な自己株式取得	持続的な成長による株主リターンの上昇
 地域社会	- 雇用創出 - 納税 - 古紙再資源化によるごみの減量 - 災害支援	「OVOL長期ビジョン2030」の実現、および「中期経営計画2026」の実践 - 自治体との連携による資源回収の拡充 - 自治体との防災協定の締結、人材育成基金の創設	衛生環境改善
 地球環境	- 古紙・廃プラスチックの再資源化による資源循環 - 再生可能エネルギー活用によるCO₂排出量削減	- 古紙・廃プラスチックのリサイクル事業強化 - 古紙を原料とした印刷用紙・段ボール原紙・家庭紙の製造 - 再生パルプ、再生プラスチック原料の製造	既存提供価値のさらなる向上に取り組む

間接的な提供価値

現在、日本紙パルプ商事グループが創出し続ける提供価値

当社グループにおける対応および取り組み事例

今後、日本紙パルプ商事グループが創出を目指す提供価値

	文化	紙の価値浸透による心の豊かさ向上	- 紙の機能や価値、紙の新しい可能性などの啓発活動の一環として、紙の書籍に関するキャンペーンへの協賛 - 紙を環境配慮素材として再定義し、体験型展示を通じて多面的価値を発信	紙の使用体験を通じた消費者のワクワク感醸成
	教育	教育に有益な紙の機能	紙での読み書きや学習などの啓発活動の一環として、紙の価値を再認識するイベントの開催・参加	小中学校への出前授業実施による紙の価値についての啓発活動
	産業	- 顧客の先にある幅広い産業における、紙・板紙製品の安定調達 - リサイクルが容易で環境負荷の低減につながる包装材の紙化を通じた産業の活性化 - 再資源化によるサプライチェーン上の各社の環境対応への貢献 - 紙の価値を再認識する啓発活動の実践による、紙パルプ業界をはじめとする取引先の経営安定および地位の向上	- グラフィック用紙、衛生用紙、段ボールなどの日常生活における必需品の安定供給 - 古紙・廃プラスチックの再資源化 - 紙の書籍に関するキャンペーンへの協賛、紙の価値を再認識するイベントの開催	- 顧客および取引先の企業価値向上 - 紙の使用体験を通じた消費者のワクワク感醸成
	一般消費者	- 循環型社会に参画する機会 - 環境保全につながる日常生活必需品の安定購入 - 生活に密着した紙・板紙製品による豊かな生活	- 古紙・廃プラスチックの再資源化を通じた家庭・地域での資源リサイクルの支援 - 環境にやさしいサステナブルな素材である紙や資源リサイクルへの理解促進に向けた、再生紙製造工場やリサイクル施設の見学機会の提供 - 環境配慮型製品を適正な価格で購入する機会の提供	紙の研究会活動による消費者の紙に関する環境リテラシー向上
	地域社会	- 地域経済活性化・環境保全 - 紙ごみの再資源化による、焼却施設などへの負担軽減 - 資源リサイクルの必要性を再認識する啓発活動による資源リサイクルへの取り組みの価値の向上	- 自治体と連携した地域社会におけるリサイクルシステムの構築 - 資源リサイクルへの理解促進に向けた再生紙製造工場やリサイクル施設の見学などの機会の提供 - ボランティア、寄付活動	既存提供価値のさらなる向上に取り組む
	地球環境	- 再資源化に伴う廃棄物削減によるCO₂排出量抑制 - 古紙原料を使用することによる森林資源の持続可能な利用促進 - 生物多様性の保全	- 古紙回収から製品化までを担う当社グループのサプライチェーンによる環境への貢献 - 効率的な物流や在庫地の適切化に伴う配送距離の短縮などによるCO₂排出量の削減	既存提供価値のさらなる向上に取り組む

Sustainability
活かし続ける、循環をつくる

Globalization
国境を越える、地域に根差す

Innovation
次の世代と分かち合う、新たな価値を創造する

価値創造
事例

1

大阪・関西万博から世界へ ——紙の価値・可能性を再発信

発揮した強み

提案力

- 「紙=環境負荷」という誤解を払拭する「紙=サステナブル」なコンセプトの提示。
- 幅広い世代や多様な国々の人が紙に触れ、楽しめるワークショップを考案。

技術力

- ブース什器から紙製ユニフォームまで、すべてを紙素材で構成。
- 展示物や使用済みの紙皿などをトイレトペーパーに再生。

組織力

- 若手社員を中心に全社横断プロジェクトとして推進。
- 幅広いパートナーシップを通じた共創の推進。

インプットした資本

- 人的資本** 世代や部門を超えた社員がプロジェクトに集結。
- 財務資本** 紙の価値、当社のブランド価値向上に資する投資の実行。
- 製造資本** 古紙を原料とした製紙・加工や再資源化技術を持つ生産拠点。
- 知的資本** 紙にまつわる知識・啓発ノウハウ。
- 社会・関係資本** 複数の外部パートナーとの連携・共創。
- 自然資本** 展示資材をすべて紙化、リサイクルで循環利用。

「大阪・関西万博展示」で創出した提供価値

当社グループは、大阪・関西万博「ベストプラクティス」と「フューチャーライフエクスペリエンス(以降、FLEと表記)」に参加し、FLEでは「未来の暮らし～紙のたいなる可能性と価値創造～」と題し、ブース展示・ワークショップを展開。紙の環境親和性やコミュニケーションツールとしての価値や可能性を発信しました。

直接的な価値

- 「紙」の利用=環境負荷(ともすれば環境破壊につながる)という誤解の払拭
- 学び・暮らしへの「紙」の果たす可能性について啓蒙し、「紙」素材の優先利用・選択による将来的な紙需要の喚起
- FLE開催期間である1週間の総来場者数は4,769名
- 世界の重要な課題を解決するプロジェクトとして、「紙系製品を身にまとう未来を作る」が3,000を超える応募から25のベストプラクティスに選出

経済価値

- 紙・紙製品を「選ばれる素材」として再定義
- 来場者のSNS拡散による当社グループのブランド認知度向上

社会価値

- 「紙=環境負荷」という誤解の払拭
- 紙の持つ多様な価値(遊び・学び・コミュニケーション)を体験的に発信
- 廃棄物低減と再資源化推進を両輪とした循環型社会への貢献



©Expo2025

提案力 大阪・関西万博展示という体験型ソリューションの実践

大阪・関西万博において参画したFLEの期間展示では、ブース全体を紙素材で構成し、循環型社会を表現するとともに、紙糸ユニフォームの着用や親子参加型ワークショップを通じて、「紙の環境親和性」を発信しました。特に「オリジナルノートづくり」や期間限定ワークショップ「段ボール兜」「紙のタイムカプセル」「紙楽器体験」は、来場者SNSの拡散もあって連日大盛況となり、紙製品のポテンシャルを強く示すことができました。ステージ発表はクイズ+演劇形式で構成し、「紙の使用＝環境負荷」という誤解を払拭。200名の来場者にノートと紙製ペンを配布し、日本国際博覧会協会からも高い評価をいただきました。

特に活用されている資本  **人的資本** 異なる部署・世代の協働による新しい発想とチームワーク

技術力 展示ブースや難再生古紙などすべてをリサイクルし、循環型社会に貢献

当社グループのコアレックス信栄(株)は、大阪・関西万博における「未来社会ショーケース事業」に協賛しており、会場内で発生する古紙を回収し、トイレットペーパーにリサイクルし、会場内のフューチャーライフゾーンに納入する一連のシステムを提供しています。また当社のFLE期間展示ブースは同社にて再資源化され、トイレットペーパーとして大阪・関西万博西エリアにて使用されました。今後、プラスチックの代わりに高機能化した紙が増え、難再生古紙が増加することが懸念されています。当社グループは本取り組みでの難再生古紙のリサイクルを通じ、ごみ焼却量の減少による脱炭素化と資源循環を促進します。

特に活用されている資本  **知的資本** 独自の異物除去技術により、難再生古紙から紙の繊維のみを抽出
 **自然資本** 循環型社会に資する持続可能な資材利用

組織力 全国横断のチーム連携とパートナー連携が生む、紙の可能性

今回のプロジェクトは、関西支社主導の取り組みから始まり、全国から若手を中心に多世代・多部署の社員が集結する全社プロジェクトへと発展しました。普段は接点のない部署間の協力を通じ、主体性とコミュニケーション力を高める機会となりました。特に、ワークショップ運営、ステージ演劇、来場者対応など、積極的に多方面にわたり協力し合うことで、全社的な人材育成・開発になったと捉えています。また、外部連携においても、多様なパートナー企業と協働。さらに「TEAM KAMIITO」として(株)ITO生活文化研究所とともに応募した「紙糸製品を身にまとう未来を作る」がベストプラクティスに選出され、国際的にも紙の新しい可能性・価値を発信しました。

特に活用されている資本  **人的資本** 全国から参画した若手を中心とした社員の主体性と行動力
 **社会・関係資本** 美鈴紙業(株)・協和段ボール(株)・(株)クラウン・パッケージ・ヤマハ(株)・山田紙管(株)など多様なパートナー企業と協働

Innovation

次の世代と分かち合う、新たな価値を創造する

WEBサイトの「OVOL Insight」
「ニュースリリース」も
あわせてご覧ください。価値創造
事例

2

オリジナリティあふれる「紙化」提案で、
紙の新たな需要を創出する

発揮した強み

提案力

- 脱プラスチック・減プラスチックを目指す紙化を軸としたソリューション提案。
- 顧客に密着した仮説検証型営業。
- 積極的な情報発信。

組織力

- 紙を基軸に幅広い事業を展開するグループ企業としての多様な機能。

インプットした資本

- | | | |
|--|----------------|------------------------------|
| | 人的資本 | イノベーション志向の人材。 |
| | 財務資本 | グループを横断した取り組みによる資本効率向上。 |
| | 製造資本 | 古紙を原料とした製紙・加工や再資源化技術を持つ生産拠点。 |
| | 知的資本 | 専門的な知識とノウハウを共有する文化。 |
| | 社会・関係資本 | パートナーとのネットワークと信頼関係。 |
| | 自然資本 | 循環型素材の活用。 |

「紙化」提案で創出した提供価値

当社グループは、環境対応と機能性を両立させた「紙化」製品の提案を通じて、社会課題の解決と事業成長を実現しています。

直接的な価値

- 紙のポテンシャルを発見・再定義し、用途領域を拡張
- 新たな発想・提案による製品価値の向上
- グループ内外の共創による新市場の開拓
- 環境配慮とデザイン性を両立させた高付加価値製品の提供
- 環境配慮・デザイン性・実用性が評価され、紙エールデザインウィンドウが日本パッケージングコンテストにおける経済産業大臣賞／ジャパンスター賞（最上位賞に相当）を受賞。
- 環境に配慮した紙製パッケージを『カミエコ®』シリーズと名付け、オリジナルブランドとして展開、製品へのブランドロゴ付与により、顧客の“環境配慮の取り組みアピール”を後押し。

経済価値

- 紙化製品へのブランド価値付与による価値向上と収益性強化
- グループ内外との連携による製品・技術の新展開と市場創出

社会価値

- 脱プラスチック・減プラスチックを通じた環境負荷低減



WEBサイト「Paper & Green」の
ページもあわせてご覧ください。



提案力 “紙化提案”という仮説検証型ソリューションの実践

当社の紙化ビジネスグループでは、当社が創出に取り組む紙の新たな価値を社内外に明確に示すため、部門名にあえて「紙化」という言葉を掲げています。このシンプルで力強い名称には、単なる脱プラスチック、減プラスチックや環境対応にとどまらず、「紙への切り替えによって包装の価値を高め、物流効率を向上させ、デザイン性まで向上させる」という想いが込められています。こうした高付加価値提案を実現するため、現場で仮説を立て、実行し、顧客の反応をもとに素早く改善を重ねる「開発営業」を確立。柔軟な発想と迅速な行動力で、新たな用途を創出し、紙の既成概念を超えた価値を生み出しています。

特に活用されている資本	 人的資本	豊富な現場経験と高い専門性を備えたグループ各社社員。
	 知的資本	ノウハウを社内外で共有し、学び合いを通じて新たな価値を創出する企業文化。
	 社会・関係資本	信頼を基盤につながるネットワーク。

組織力 連携が生む、紙の可能性のその先へ

紙の既成概念を超えた価値創出には、グループ各社の密な連携と諸資本の有効活用が欠かせません。その象徴が、独自の発想力と提案力を結集した「カミエコ® アパレルパック」(写真右端)です。「カミエコ® アパレルパック」には、グループ会社エコペーパー JPが製造する段ボール古紙100%の再生紙「エコピア」を使用しています。「エコピア」は、通信販売向けの梱包緩衝材として利用されてきましたが、その特性を活かし、環境負荷低減とブランド価値向上を同時に実現できる用途として「カミエコ® アパレルパック」の企画・提案を行っています。具体的な提案活動としては、当社のサービスサイト「Paper & Green」を通じた潜在顧客の発掘に加え、顧客やユーザーとの接点を拡大するため、各種展示会への出展やセミナーでの講演など積極的な機会創出に取り組みました。結果、流通・アパレル業界から高く評価され、「カミエコ®」の商標登録やシリーズ化を実現するなど、高付加価値製品として新たな市場を切り拓きました。今後も当社グループは独自の「紙化」提案を推進し、賛同・協業するパートナーを広げながら、次のビジネスを生み出す原動力としていきます。



「カミエコ®」シリーズの一部

特に活用されている資本	 人的資本	柔軟な発想と高い判断力を持ち、迅速に行動できるグループ各社社員。
	 製造資本	環境負荷軽減アイデアを実現する、製紙・加工や再資源化技術を持つ生産拠点。
	 知的資本	素材開発や技術活用に関するノウハウ。加工品の度重なる試作や素材開発への投資。
	 社会・関係資本	原材料・加工・流通企業、デザイナーまでを結ぶ多業種・社内外パートナーシップ。